

計画段階評価結果一覧

【北九州空港滑走路延長事業】

実施箇所 実施主体	解決すべき課題等	達成すべき 政策目標	複数案との比較	対応方針
<p>北九州空港 (福岡県) 九州地方整備局 大阪航空局</p>	<p>・北九州空港は滑走路長が2,500mであるため、長距離貨物専用便の商用運航に必要な滑走路長が不足し、貨物定期便や貨物チャーター便の就航機会を逸失している。</p> <p>・背後圏企業の輸出入貨物は、近傍の空港には北米等を結ぶ長距離国際貨物便が就航していないことから、遠方の空港まで陸上輸送せざるをえない。</p>	<p>①北米・欧州への直行便(貨物定期便)の新規就航及びチャーター便の就航機会の拡大への対応</p> <p>②九州・西中国地域に立地する産業の活性化と国際競争力の向上</p> <p>③地域経済への波及効果</p>	<p>【案1】南側に滑走路を500m延長 <滑走路長3,000m></p> <p>①滑走路延長用地 空港島の未利用地を活用。</p> <p>②自然環境 水質や動物(海生動物)の生育環境への影響が生じる可能性がほとんどない。</p> <p>③事業費 概算事業費は約130億円。</p> <p>④事業期間 工事期間は4年程度。</p> <p>【案2】北側に滑走路を500m延長 <滑走路長3,000m></p> <p>①滑走路延長用地 新たな埋め立てや人工地盤の整備が必要。</p> <p>②自然環境 潮流の変化による水質や動物(海生動物)の生息環境への影響などが生じる可能性がある。</p> <p>③事業費 海上に新たな施設整備が必要となるため、【案1】と比べ整備費用が大幅に増加。</p> <p>④事業期間 海上に新たな施設整備が必要となるため、環境アセスメントの手続きや漁業関係者との調整に多くの時間を要するため、早期の供用開始が困難。</p>	<p>【案1】による対策が妥当</p> <p>(理由) 北米・欧州への貨物直行便を商用運航するために必要な滑走路長を確保するため、自然環境への影響、事業費、事業期間等を比較し、案1が優位であると考えられるため。</p>